

2023
年度

予算のお知らせ

去る2月8日に開催されました組合会において、2023年度予算および事業計画が承認されましたので、その概要をお知らせします。

事業運営における基本方針

被保険者および事業主から預かる保険料を適切に活用し、次の実現を図ります。

- ◆加入者のセーフティネットとして、生活の安定に貢献します(医療の提供)。
- ◆加入者の健康の保持増進に寄与します(健康サポートの提供)。



主なトピック

◆保険料率

- 積立金が増加していることから、2022年度保険料率を8.384%→6.0%に引き下げました。(2023年度は保険料率維持)

◆トータル7億円の赤字見通し

- 保険料率低下が主因となって経常赤字は12億円ですが、次の2つの要因によって赤字は縮小。

(要因)

- ①2022年度の黒字額5.5億円を繰越金として収入に加えています。
 - ②通常なら4億円程度納付するはずの前期高齢者納付金が、過年度分の精算によって逆に1億円が還付されます。
- なお、国の指導により予算を超える支出ができないため、余裕をもった支出予算となっており、予算よりも実績の収支は改善する見通しです。

◆健康サポートの新サービス提供(保健事業費)

- 2022年9月の満足度調査の結果を受けて、かかりつけ医による歯科検診・スポーツクラブの自由選択制度導入(P8.P12ページ参照)のため、予算を確保しました。

一般勘定

予算総額 54億6,307万6千円

経常収入合計 39億5,756万1千円

経常支出合計 51億5,448万6千円

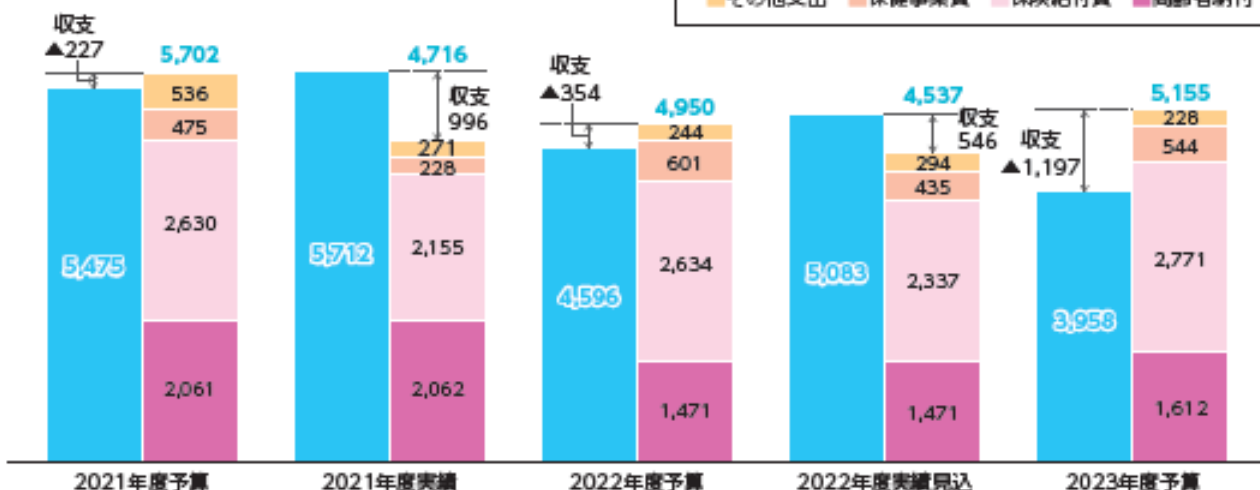
..... 一般勘定基礎数値

被保険者数 6,600人

保険料率 6.00%

経常収支の推移

(単位:百万円)



経常収入

収入不足分約12億円は、繰越金と繰入金の補填で均衡を図る

その他の収入
60百万円

保険料
3,897百万円
みなさまと事業主様から納めていただく健保組合の主たる財源です。

合計 3,958百万円

経常支出

その他
228百万円

保健事業費
544百万円
みなさまの健康保持・増進をサポートするための費用です。

納付金
1,612百万円
高齢者を支えるために国に納める費用です。

保険給付費
2,771百万円
みなさまの医療費や各種給付に充てられる費用です。

合計 5,155百万円

介護勘定

介護保険にかかわる費用勘定

介護保険の予算

健保組合は、40歳から64歳の被保険者から介護保険料を徴収し、介護納付金として国に納める徴収事務のみを行っています。

介護納付金の1人当たりの負担は増え続けているため、2023年度の保険料率を1.74%→1.80%に引き上げました。



収入

科目	予算額(百万円)
介護保険収入	815
その他	77
合計	892

支出

科目	予算額(百万円)
介護納付金	830
その他	1
予備費	61
合計	892

…… 介護勘定基礎数値 ……

保険料率 1.80%